

## 栃木県でラジオによる自動車盗難防止啓発を実施

～栃木損保会長が生出演し、最新の盗難手口や防止対策を解説～

日本損害保険協会関東支部栃木損保会（会長：高橋 学・東京海上日動火災保険株式会社、執行役員栃木支店長）では、盗難防止の日（10月7日）の前後に、ラジオで自動車盗難防止の啓発を実施しました。

栃木県は、2023年1年間の自動車盗難認知件数が245件と、全国ワースト7位になっており、毎年ワースト10位にランクインする盗難多発県です。今年は昨年と比べ、盗難が増加している状況にあります。こうしたことから、栃木損保会では、「盗難防止の日」を挟んだ10月3日から10月10日にかけて、エフエム栃木にて、60秒間のアナウンサーの読み上げCMにより「栃木県では自動車盗難が増加しており、自分自身の手で愛車を守る盗難防止対策が必要。」とリスナーに呼びかけました。

また、10月9日には、帰宅時間帯のラジオ番組に高橋損保会長が生出演しました。番組の中で、高橋会長は、『キーエミュレーター』を使用した新しい盗難手口や、狙われやすい車種などの解説とともに、「盗難を防ぐためには、施錠はもちろんのこと、駐車場対策・ハンドルロックなどの物理的対策、GPS装置の活用など、対策を重ねることが大切」と話しました。さらに近年、関東地方では、自動車だけでなく金属の盗難が社会問題となっていることにも触れ、とくに、県内の太陽光発電施設のケーブル盗難が多発していることから、自動車と同様、複数の盗難防止対策を行うよう訴求しました。

栃木損保会では、今後も県警や関係機関と連携し、防犯活動を推進し、安全で安心な社会の実現に貢献してまいります。



ラジオ出演の様子



左：高橋損保会長・右：MCの山口あやさん